

平成 28 年度 第 6 回 別府市公共交通活性化協議会
意見要旨

日 時：平成 28 年 3 月 24 日（金） 15：30～16：25

場 所：別府市役所 5 階大会議室

◆意見要旨

1 開会

事務局：16 人の出席により、規約を満たしている。

2 会長挨拶

会 長：各委員には積極的な発言をお願いしたい。

大分県が本市を含む網計画と再編実施計画を策定するとのことを聞いている。

3 議題

(1) 平成 28 年度別府市地域公共交通網形成計画推進事業及び平成 28 年度別府市地域公共交通再編実施計画策定調査業務について

*事務局が説明。(説明内容省略)

会 長：スマート時刻表は 3 色あるが、何をもって分けているのか。

事務局：平日を白、土曜日を青、日祝日をピンクで分け、目的地別に料金と時間を示している。

会 長：行き先別に英語の表記があり、外国人にも分かりやすくなっている。

おでかけ公共交通 MAP についての説明も宜しくお願い致します。

事務局：マップ裏面の文字を大きくし、バスの利用方法の案内や多様なタクシーのサービスを掲載している。

会 長：字が大きく、分かりやすくなっている。マップは観光案内所でも配布するのか。

事務局：その予定である。

委員①：先ほど事務局からの言及もあったが、複数市町村をまたぐ圏域での公共交通計画を策定している。

順次圏内での策定を進めており、昨年度は豊肥圏域、北部圏域、今年度は南部圏域、来年度は別府市を含む広域な網計画、再編実施も視野に入れておくことが重要。アクションプランや網計画との整合を図っていきたい。

会 長：質問等あるか。

委員② : スマート時刻表だが、9時以前と17時以降の時刻は乗せないということで良いか。

事務局 : まず観光客の移動の利便性を図ることを目的として作成した経緯があり、多くの観光施設の営業時間に合わせて9時～17時としている。

委員② : 次回は、17時以降バス利用がある路線もあるので、掲載できると良い。

事務局 : 了解した。

会長 : アクションプランについては良いか。

事務局 : 事前にお配りした素案を元に、委員から7件の修正案が寄せられたため、それを反映している。

会長 : 修正部分についてはご確認いただきたい。

委員③ : 41ページのマネジメントの進め方について、アクションプランを踏まえて、別府市がどのような行動をするのか、この協議会はどうなるのかを教えてほしい。

事務局 : マネジメントの進め方については、網計画にも掲載している。大分県の取組の進捗状況を見据えながら、再編実施計画、事業の検証や見直しをしつつ、取り組みを適宜進めていく。

会長 : 九州の東の玄関口としての拠点化戦略会議についての解説を委員① をお願いしたい。

委員① : 高速道路は東九州道の整備がなされ、九州を循環できるようになっている。海路は九州のフェリー便の8割が別府港に寄港しており、海路と陸路の結節点・人と物が行き交う場所として、別府港は九州の東の玄関口と言える。また、特に物流においてはこれまで産業と捉えてこなかった。今後は物流を成長産業にしていきたい。来週、戦略としてとりまとめる。

別府港はフェリー寄港地であり、古くなった上屋の改善を行ったり、新たに賑わいのある施設を作る事になる。フェリー利用者だけでなく、にぎわい施設の利用者や二次交通が重要となる。別府港の二次交通の整備・円滑化、別府港と駅、別府港と他の拠点との連携を図り、一か所にまとめて集約しながら発着できるようにしたい。

来年度の網計画、再来年度の再編実施計画、最新のアクションプランの状況を踏まえ、県の取組みとして進めていければと考えている。

会長 : 承認で良いか。

各委員 : 異議なし。

会長 : 各委員の任期が2年ということもある。委員の皆様から公共交通活性化協議会を通しての意見を頂きたい。

- 委員④ : 地域交通を今後どうしていくのが課題である。運転手不足のなか、いかにして、地域交通にとりくむのか。引き続き頑張っていきたい。
- 委員⑤ : 高齢者・子どもを含め、市民が低料金で公共交通を利用できれば良いが、市の財政は社会福祉関係で他地域に比べ財政の弾力性に欠ける。限られた財源の中で、交通にかかる移動サービスの高度化を引き続き検討していきたい。
- 委員⑥ : 今後も市民の足を守ることを考えていきたい。
- 委員⑦ : 鉄輪に来られたお客さんにバスの時刻を案内しているが、毎日時刻を調べてお客さんを送り出しているのが現状である。このようなスマート時刻表があれば、日本人にも外国人にも案内しやすい。
自分の人生が少し変わったと感じた協議会であった。今後とも宜しく願いたい。
- 委員⑧ : この協議会を通じてバスに乗る機会が増えた。子どもに迎えに来て欲しいと言われる事があり、バスを利用してくれたらと思うが、バスの時刻表は子どもには分かりづらい。今後、子どもにもバス利用の促進ができるとう良い。バスの時刻表もデザインするというとう良いと思う。バス料金は高いと思う。料金を安くすることは難しいとは思うが、利用者が増えれば低運賃での運行が可能となることを期待する。
- 委員⑨ : 4月の地震にて別府一ノ宮線の道路被害を受け、通常運行ができなかった。我々土木事務所は社会インフラの維持管理をしっかりしていきたい。
- 委員⑩ : 多様な関係者が一堂に集まって問題意識の共有や解決に向けて議論できるのは良いと思う。
お疲れ様でした。
別府市は他の圏域に比べて恵まれている方である。インバウンドの流入も今後増加が見込まれる。プラスの議論もできている。厳しい現状を見つめながら、前向きに計画ができたのは良かったと思う。計画づくりの次、実行を引き続きやっていきたい。
- 委員⑪ : 危機管理、公共交通、財政を担当している。別府市の財政状況は非常に厳しい。インフラ整備にも14億円を投入することになった。一方で高齢者の自主免許返納を促している。返納をした後、どのような移動をしているかを調査したところ、バス・タクシーの利用がほとんどであった。交通事業や自治会など、他市の状況も見つつ、高齢者や障害者が買い物や通院などできるように引き続き努めていきたい。
- 委員⑫ : インフラ整備が主になってくるが、まちづくりと連携した公共交通について引き続き取り組んでいきたい。
- 委員⑬ : 活性化すれば事件や事故が増える。安心安全な公共交通の活性化をお願いしたい。自主免許返納についても、高齢運転者が毎日免許返納をしている。免許返納、代替交通手段の確保、計画に乗っ取って進めていきたい。

委員⑬ : 道路整備といったハード整備のみならず、公共交通の活性化も渋滞対策に寄与する。引き続き宜しくお願い致します。

委員⑭ : 事業者と協力のもと、実施して頂きたい。広域での実施計画も5年10年先を見越した整合性のあるものにしてほしい。立派な計画を作っていただきたい。

委員⑮ : 毎日バスを運行している。バス運行中に利用者から行き先についてよく聞かれるため、鉄輪から大分行、別府駅行のルートが掲載されているマップや時刻表は大変助かる。休日になると人が多く、遅延もあつたりするのが実情であり、今後も改善を引き続き行っていくべきである。渋滞対策もやっていくべきである。今後も公共交通については是非考えて頂きたい。

委員⑯ : 公共交通会議がもっと早くできればよかったというのが本音。このような会議が早く出来上がったなら、もう少し違った別府市があつたかもしれない。これからもいろんな意見交換が出来たら良いと思う。

委員⑰ : バス事業の現状は、全国の7割が赤字である。貸切バスで儲かった分で埋め合わせをしているのが実情である。地方の子どもや高齢者の移動手段を守るために交通事業者は苦労・努力をしている。運転手の不足もある。給料が安く、早番や遅番勤務があるため、家族と一緒に食事が出来ない等からなかなか手が集まらない。10年後には路線が組めなくなるかもしれないので是非バスに乗ってほしい。アクションプランができあがって終わりではない。PDCAを回して頑張してほしい。

委員⑱ : 別府市の統計書によると、輸送動向をみると、93年を1とすると大分県は0.53に対し、別府市は0.93の減少にとどまり、別府は恵まれている環境にあつた。APUの開学も大きい。インバウンドの急増もある。それ以外の路線は他都市と同様の減少傾向にある。関の江団地線の維持ができた。今後は人口減少、生産年齢人口の減少が懸念される。他都市に負けずに別府市をサポートしていきたい。

会 長 : 貴重な意見をありがとうございます。公共交通のテーマは色々な地域が抱える問題に密接にかかわるテーマだと思う。色々な方々と話し合いをし、進めていきたい。

事 務 局 : 2年間の任期に大変感謝している。今後も各委員にはご支援ご協力を宜しくお願いしたい。

4. 閉会